

### 「新しい学校が開校するための準備は？」

白糠小学校 校長 滝川 敦善

来年度、本校と白糠中学校は、義務教育学校「白糠町立白糠学園」として開校を予定しています。保護者や地域の方から「新しい学校が開校するための準備はどこまで進んでいるのですか？」と聞かれることが多くなりましたので、本紙面を借りてお伝えしたいと思います。

ご存じのように、令和4年8月に、釧路管内では4校目、白糠町内では2校目となる義務教育学校として小中一貫教育を進めていく「白糠町立白糠学園」が開校します。あわせて、白糠中学校の校舎は今年6月から改築工事が始まっており、前期課程(小学校)と後期課程(中学校)の機能が備わった一体型の校舎として生まれ変わります。

これまで、数年間にわたり地域や関係機関の代表で組織する「白糠地区義務教育学校開校準備委員会」が中心となり開校の準備を進めてきました。校舎の改築に関することから校名の決定など検討事項は多岐にわたりますが、「義務教育学校開校に向けた大きな方向性」が確認されたところです。同じく、「学校運営協議会準備委員会」も立ち上がり、「地域とともにある学校づくり」を進めていくこととなります。学校運営協議会は、地域や学校が抱える課題を一緒に考え、知恵を出し合い解決していく組織です。保護者や地域住民のみなさんが、学校運営や学校の課題解決に参画できる仕組みとして、全国的に導入が進んでおり、開校に合わせて導入する予定です。また、小中合同のPTA役員会の中でも協議を重ね、今年度から次年度8月までのPTAの運営や、開校に伴う白糠学園PTAの立ち上げなどを話し合っています。これまでの小中PTAの積み重ねを大切にしながら、学園PTAとしての組織や計画について協議しているところです。さらに、11月には開校記念に係る協賛会の立ち上げが予定されており、協賛会が中心となり、開校という一つの節目に記念事業を行う予定です。

このように、令和4年8月の開校に向け白糠学園を支えていただく組織が次々と立ち上がり動き出しています。

では、義務教育学校「白糠学園」は、どのような学校で、どのような教育が行われるのでしょうか。人を育てる教育機関として目指す教育理念や校訓、学校の教育目標が定まり、学園として大切にしたい教育も「9年間の連続した学び」を5つのキーワードに具体化しました。それをもとに授業時間や教科担任制、学校行事や児童生徒会活動など、連続した学びが効果的に子どもの成長を促す活動となるような教育課程を編成していくこととなります。11月には、保護者のみなさまを対象とした小中学校合同の保護者説明会を開催する予定です。学校の方針だけでなく、「制服はどの学年から着用するのか?」「運動会や体育祭などの行事は?」「部活動はどうなるのか?」「通学路は?」などの疑問にお答えできる資料を用意しております。開催日時が決定しましたらご案内いたしますので、どうぞご参加いただきますようお願いいたします。



月日	曜日	日課表	生活	11月行事
1	月			安全点検日 全校朝会 後期Q-U週間
2	火			社会見学1年
3	水			文化の日
4	木			午前授業
5	金	変則		クラブ フィールド生来校
6	土			
7	日			
8	月			芸術文化鑑賞会
9	火	変則		
10	水			修学旅行6年
11	木			修学旅行6年 読み聞かせ3・4年
12	金			6年生振替休業日 避難予備訓練 フィールド生来校
13	土			土曜授業 ふるさと学習発表会 アイヌ文化 出前講座 ECタイム 道徳授業公開 PTA家庭教育学級
14	日			
15	月			
16	火			後期教育相談
17	水			後期教育相談 児童朝会 スクールカウンセラー来校
18	木	変則		後期教育相談 児童委員会
19	金			後期児童相談
20	土			
21	日			
22	月			後期教育相談
23	火			勤労感謝の日
24	水			ノーゲームデー
25	木	変則		クラブ
26	金			臨時休業(庶路学園公開研究会のため)
27	土			
28	日			明日の青少年を考える集い(5年生参加)
29	月			表彰朝会
30	火			租税教室6年 スクールバス指導

学校HPへ



# 宿泊研修

5日(火)、6日(水)に宿泊研修に行ってきました。行先は「ネパール厚岸」です。

7月に予定していたものの、「緊急事態宣言」の発令により、10月に実施となりました。よって2学期から本格的な取組が始まりました。

今回の宿泊研修においては、「恋問館で総合の学習」を実施しました。「白糠の食の魅力を発信するためにどんな工夫をしているか」という視点で見学しました。各々、気が付いたところをメモしたり、写真に撮ったりしながら今後の学習に生かそうと取り組んでいました。

バスの中では「バスレク係」が中心となってクイズを出題しました。簡単な問題から難しい問題まで用意されていました。

別保公園では、レク係が中心となってしっぽ取りやドッチボール等をして楽しみました。お弁当もおいしくいただきました。

ネパール厚岸に到着し、「焼き板クラフト」を体験しました。ネパール厚岸の職員の説明をよく聞いて作業に取り掛かりました。さすが5年生！自分で工夫しながら個性あふれる作品を完成させました。

その後、愛冠岬までの散策や夕食を挟みでの映画鑑賞を楽しみました。一番楽しかったのは部屋で過ごす時間だったのではないのでしょうか？夜中まで友達とおしゃべりをして過ごしたようです。



翌日は朝から元気いっぱい！朝の散歩から始まり、ネパール厚岸の周りのゴミをひろう奉仕活動も一生懸命取り組む5年生でした。



思い出に残る宿泊研修となりました。

# 防災学習

22日(金)に「防災学習」を実施しました。「自己や他者の生命を尊重し、日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、安全に行動できる能力や態度を育成する」ことがねらいです。

3校時は低学年、4校時は中学年、5・6校時は高学年で実施しました。白糠町役場地域防災課の職員が来校し、指導していただきました。

低学年は「そなえることのたいせつさ」と題して、学校やお家でできることを考えました。また、1年生は「北海道防災かるた」に取り組み、かるたを通じて防災について考えることができました。2年生は「防災カードゲーム」に取り組み、困っている人がいたらどう行動するのか、何を準備するのかをグループで考えました。

中学年は「避難所で過ごす」と題し、「避難所ってどんなところか」を考えながら避難所で困りそうなことや注意することを学びました。避難所では元気な挨拶をして明るさを届けたり、小さな子と遊んだり、避難所をきれいに使うことが大切であることに気づきました。

また、パーテーションと段ボールベットをグループで協力しながら作成しました。

高学年は「避難所運営ゲーム HUG」を用いて、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを考えました。避難所には様々な事情を抱えた人々が集まってきます。その人々をどの場所に避難させ、安心させるかを考えなければなりません。時には無理な要求をする避難者もいるかもしれません。その時、どう対応していくかも大事になってきます。避難所運営ゲームの説明を受け、グループになって取り組みました。グループでその時々への対応について話し合いました。難しい判断を強いられることもあります。いざという時、「想像力」「調整力」「行動力」が求められます。日頃から意識しながら生活し、災害についても様々な角度から学び続け、備えて支える人になってほしいと思います。



# 社会見学

今年度の社会見学が実施されています。

2年生は「遊学館」、

3年生は「札幌ベニア」、

4年生は「白糠炭田石炭資料室」を見学しました。

様々な施設を見学し、見聞を広めました。



2年「遊学館」



3年「札幌ベニア」



4年「白糠炭田 石炭資料室」